



学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和4年4月6日

<4月号>

「あいさつ」と「感謝」は心と心をつなぐキャッチボール

校長 後藤 修治

穏やかな春の日差しとともに、新年度がスタートしました。ご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

さて、12日間の春休みを終え、元気な子どもたちの声や笑顔が学校に戻ってきました。まだまだ新型コロナウイルス感染症への不安がある中ではありますが、子どもたちの安全・安心を第一に考え、職員一同子どもたちの指導、支援に当たってまいります。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

令和4年度のスタートにあたり、本日の始業式で子どもたちには次のようなお話をしました。

今日は、1学期の始業式です。1学期の始まりでもあり、1年間の始まりでもあります。2年生から6年生の皆さんは学年が一つ上がりました。進級おめでとうございます。この後、入学式があり、15名の新一年生が入学してきます。令和4年度は、全校児童64名でのスタートです。64名一人一人、1年間、たくさん学び、たくさん遊び、たくさん成長しましょう。

1年間のスタートにあたり、皆さんに昨年度に引き続き大事にしてほしいことを二つお話します。

一つ目は「あいさつ」です。あいさつは、生活や活動の基本です。特に、朝は気持ちのよい、元気なあいさつをしましょう。校長先生は、今年も玄関で皆さんを毎朝待っています。お互い気持ちのよいあいさつをしましょうね。また、学校に入っても友だち同士、先生方と元気にあいさつを交わしましょう。今年は、学校だけでなく、地域の人へも気持ちのよいあいさつができるようにしましょう。地域の人もみなさんからあいさつをしてもらおうと元気が出ます。あいさつが響き合う学校、気持ちのよいあいさつができる学校をみんなで作っていきましょう。

二つ目は、「感謝」です。3月の全校朝会で「ありがとう」には「ありがとう」というお話をしました。覚えていますか？何かをしてもらったら「ありがとう」の気持ちを伝える。そして、今度は自分がその人のために何かしてあげる。そうしたら、その人から「ありがとう」の気持ちが自分に返ってくる。そんな、お互い「ありがとう」を言葉にしたり、行動に移したりできる温かい学校をみんなで作っていきましょう。

「あいさつ」「感謝（ありがとうの気持ち）」は、心と心をつなぐキャッチボールです。みんなで大事にしていきましょう。